

証券投資論		教授 矢島 格	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目 会計ファイナンスコースの 専門選択科目	科目ナンバリング	23220202

1. 授業のねらい・概要

証券投資理論（モダンポートフォリオセオリー）の基本的な考え方をわかりやすく説明する。また、証券投資の対象としての金融商品についての基本的な特徴などもわかりやすく紹介する。そして、この授業の受講によって、証券投資などの資産運用業務（アセットマネジメントビジネス）に興味・関心を持ってもらうことを目指す。

なお、本科目の履修にあたっては、「ファイナンス入門」と「FP 概論」を履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

配布資料を使いながら、証券投資理論の基本や代表的な金融商品への対応などについて講義形式で説明する。なお、随時、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. 金融商品の選択について	8. 株式の評価尺度と外貨建て資産のリスクとリターン
2. ファイナンス理論の考え方① (貨幣の時間価値, リスクとリターンの関係)	9. 景気の見方
3. ファイナンス理論の考え方② (リスクの測り方, 下方リスク)	10. 投資信託① (投資信託のしくみ)
4. ポートフォリオ理論① (分散投資の効果, 効率的フロンティア)	11. 投資信託② (投資信託の分類方法, 投資信託の運用方法)
5. ポートフォリオ理論② (システマチック・リスク, ベータ)	12. 投資信託③ (投資信託のディスクロージャー)
6. 効率的市場仮説	13. 投資信託④ (投資信託関連の最近の動向)
7. 債券と金利	14. その他の金融商品
	15. 情報の収集と判断方法

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。なお、これらの準備学修には、1 時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

証券投資の科学的な方法論を修得し、実際の証券投資における留意点が理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（50%）および定期試験の結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは使わず、配布プリントを使用する。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

受講の要件としては、金融・ファイナンスの基礎知識があることが望ましいが、そうでない場合も、理解できるように説明する。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。